

✓ 検査の特徴

- 1回の鼻咽頭ぬぐい検査で、15種類の病原体（ウイルス14種・細菌4種）を検出可能
- 約20分で結果が判明します
- 診お子さまの症状に対して、より早く適切な治療を行うことが可能になります。

✓ 検出可能な病原体

- ウイルス：新型コロナウイルス、インフルエンザA・B、RSウイルス、アデノウイルス、ヒトメタニューモウイルス など
- 細菌：マイコプラズマ、クラミジア、百日咳菌 など
 - 従来の検査では診断が難しかった百日咳やマイコプラズマ感染症も高精度に診断可能

✓ 検査の対象

この検査は発熱した方全員に実施するものではありません。

特に発熱当日に検査を行うケースは少なく、以下のような場合に適用されます。

- インフルエンザやコロナの抗原検査が陰性だったが、その後も発熱や咳が続く場合

✓ 注意点

本検査は非常に鋭敏なため、現在の症状と関係のない病原体も検出される可能性があります。

例えば、

- 1か月前に感染し、すでに症状が治まっているウイルスが陽性に出ることがある
- その時点では症状を引き起こしていない通過性のウイルスが検出される可能性がある

そのため、検査結果のみで診断を確定するのではなく、お子さまの症状や経過を総合的に判断し、適切な治療を行います。